

国語

解答注意

問題は全部で三十四問あります。

解答シートへの記入例

①の答えが2のときには

① ↓

と記入します。

数字の記入例

○印の部分をお願いいたします。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔 一輝は「特待生」として入学した高校で失意の日々を過ごしていた。そんなある日、生徒会会長に担がれる話もち上がった。 〕

その夏、一輝は多くの時間を図書館ですごした。それは前の年の夏と変わらなかったけれど、中身は大きく変わった。机に向かって参考書を開いてはいるものの、気がつくともノートに詩を書いたり、手紙のようなものを記したりして、勉強は手つかずの状態だった。

① マリーのことにはあきらめると決めたはずなのに、ほんやりしていると、ミ練が夏雲のようにわき上がって心を乱した。そんな自分に腹を^I立ててノートを破り捨てる。しかし翌日になると、また同じようなことを繰り返す。

自宅の壁に貼った[※]村上春樹の写真を眺めても、心の針は動かなかった。この人の習^bカ^なに倣^なって体を動かそうと、スニーカーを履いて外に出ても脚が言うことをきかない。ジョギングはただの散歩となり、夜の街路をふらついては溜め息をつくばかり。日増しに症状が重くなってゆくような気がして、一輝は不安にかられた。なにか

A の策を講じなければ、自分はおかしくなってしまう。本気でそう思った。

「おれ、やっぱり野球部やめるわ」

② 教室でそんな言葉を耳にしたのは、八月の全校登校日のことだった。

マエケンが前の席のマリーにつぶやいていた。

「それで、どうするの？」とマリーは振り向いて尋ねる。

右側から首と上半身を後ろにひねるので、一輝の席からは顔がほとんど見えない。

「まだわかんね。なにか野球以外のことをするかも」

「たとえば？」

「たとえば——生徒会とか。役員になって野球部の予算増やしてやるとか。駄目かな？」

「いいんじゃないの。ピッチャーでできなくても、貢献することはできるよ」

二人とも声をひそめて話す。ずいぶん親しげなやりとりだ。

なぜマエケンは自分に相談してくれないのか。一輝はマリーをねたましく感じた。

なぜマリーは自分と口をきいてくれないのか。同様にマエケンを羨ましく感じた。

「君は野球を続けるべきだ。再起を果たして[※]ウエストのエアースになるべきだ」

そう言ってやりたかった。

一輝は手にした生徒手帳に見入るふりをしながら、ときどき二人のほうに視線を向けた。

その何回目かに、こちらを^cフリ返ったマエケンと目が合った。

「ポンちゃん、元気してるか？」

あいさつ代わりにマエケンが言った。

「してない。夏バテかも」と正直に答えた。

「ポンちゃんはしっかり勉強してくれよな、おれたちの分まで。ウエストの希望の星なんだから」

聞いた瞬間、ふいに腹立たしさがふくらんだ。——なんだよ、他人事だと思^ひって。なにが希望の星だ。リタイアしようってやつが、いい加^dゲン

なことを言うな！

③ 「生徒会、ほくがやるうか」

「へ？」とマエケンは、しゃっくりのような声を出した。

マリーも反応してこちらに顔を向けた。久しぶりで目にする実物の顔だった。

どうしてそんな言葉が口をついて出たのか。あとでこのときのことを思い出すたびに、一輝は首をひねった。

生徒会の役員になる気など、これっぽっちもなかった。ただ気落ちしているマエケンを励まし、同時にマリーの注意を引きたいと思ったことが、想定外のセリフを言わせたようだ。

マリーには自分のことを見直させたい。できれば敬意をはらってもらいたい。そして最終的には恋愛感情をもってほしい。あきらめると言いながらも、それが本心であることは自覚していた。——とはいえ、とんでもない言葉を人前で口にしてしまったものだ、一輝は悔やむことになった。

九月の新学期が始まると早々に、「ポンちゃんが生徒会長に立候補するらしい」との噂^{うわ}が立った。はじめは二年A組の中で。数日後には二年棟の全体で。

生徒会執行部の役員改選は、例年十月に行われる。その直前に開催される文化祭と体育祭が、現執行部の一年間をしめくくる最後の行事となり、引退の花道を飾る。

ある日、教室移動の最中に廊下でF組の生徒たちとすれ違ったとき、一輝は近藤^{こんどう}に呼び止められた。

「あんた、生徒会長に立候補するんだって？」

④ 「まさか、どこでそんな話を？」

「どこでもしてるよ、みんな。ポンちゃんて意外と勇気あるんだ」
「ないよ全然」

「あたしは今年、副会長に立候補するから。よろしくね」
近藤は一輝の左ひじのあたりをポンとたたいてほほえんだ。

冗談じゃない。どういふことなんだ？

嘩然としてみると、リッキーがそばに来て言った。

「おれもマエケンから聞いたときはびっくりした。もしかして、マリーのせいかな？」

相手の暑苦しい顔を見上げながら、一輝は **B** だった。

「それって、どういうこと？」

おそるおそる聞くと、^⑤リッキーはまわりに注意をはらい、小声で言った。

「ポンちゃんがマリーにふられたとかって、女たちがしゃべってる。知ってるだろ？」

「知らない」

「ほんとに？ おまえ耳が悪いんちゃうか？ マリーに詩を書いたとか、『ポアール』で泣いてたとか。おれはよく知らねえけど、そんな噂だぞ。そんで、マエケンが生徒会のことマリーに話したら、『おれがやる』ってぶちかましたんだろ？」

ぶちかましたという件より、詩だの「ポアール」だののほうが一輝にはショックだった。詩については自分とマリーしか知らないことであり、他の生徒が知っていたとすればマリーがしゃべったとしか考えられない。もしかしたら、詩の中身までしゃべってしまったのか。あるいは実物を取り巻きたちに見せたとか――？

羞恥心で顔がほてった。全身の力が抜けて、その場にへたり込んでしまいそうだった。

(本田有明「ファイト！ 木津西高校生徒会」より)

※村上春樹 日本の小説家。「ノルウェイの森」などの作品がある。

※ウエスト 木津西高校野球部のこと。

※ポアール 商店街にある喫茶店。

問一 傍線部①から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

①	味	2	実	3	見	4	身	5	未	(解答は①の欄)
②	感	2	慣	3	官	4	卷	5	間	(解答は②の欄)
③	降	2	振	3	不	4	付	5	負	(解答は③の欄)
④	減	2	限	3	幻	4	蔽	5	現	(解答は④の欄)

問二 傍線部I「立て」の動詞の活用の種類として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 五段活用 2 上一段活用 3 下一段活用 4 サ行変格活用 5 カ行変格活用

(解答は⑤の欄)

問三 傍線部①「マリーのことはあきらめると決めたはず」とありますが、このことについて考えられることとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑥の欄)

- 1 一輝はマリーに好意を寄せていたが、マリーの気持ちを考えると積極的にはなれず、一輝が耐え忍んだと考えられる。
- 2 マリーは一輝に好意を感じていたが、一輝との間で起きたいさかきをきっかけに二人の関係は壊れたと考えられる。
- 3 マリーは一輝に対して恋愛感情はなく、マリーに好意を感じてもらおうようなことができず、一輝がふられたと考えられる。
- 4 マリーと一輝は恋愛関係にあったが、考えの合わなくなった二人は相談して関係を解消することになったと考えられる。
- 5 マリーはもともと一輝に何の関心もないので、一輝はいつまでも片思いでいることに耐えられなくなったと考えられる。

問四 **A** に当てはまる適当な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑦の欄)

- 1 自業自得 2 起死回生 3 大義名分
- 4 優柔不断 5 付和雷同

問五 傍線部②「マエケンが前の席のマリーにつぶやいていた」とありますが、この様子を見ていた一輝の心情として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑧の欄)

- 1 マリーをねたましく、マエケンを羨ましく感じた。
- 2 マリーを羨ましく、マエケンにねたましく感じた。
- 3 マリーに反感を、マエケンに共感を感じた。
- 4 マリーにねたましさと羨ましさを同時に感じた。
- 5 マエケンにねたましさと羨ましさを同時に感じた。

問六 傍線部③「生徒会、ぼくがやるか」とありますが、一輝がこう言った理由を一輝自身はどう考えましたか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑨の欄)

- 1 生徒会の役員になりたいというマエケンに対抗意識が生じて、生徒会には少しも関心がないのに、思わぬことを口にしてしまったのだと考えた。
- 2 マリーが生徒会に関することをしたいというマエケンに反発しているので、マリーに生徒会のことにもっと興味を持ってもらいたいと考えた。
- 3 前から興味を持っていた生徒会に立候補するときが到来したと思い、その決意をマエケンとマリーの前で表明しようとしたのだろうと考えた。
- 4 気落ちしているマエケンを励ましたかったのと、同時にマリーの注意を引きたいと思った気持ちが合わさって、それが自分でも意外な言葉を発することになったのだろうと考えた。
- 5 気落ちしているマエケンに目標を持たせるために、マエケンが自分と一緒に生徒会の役員になることで、前のような元気を取り戻してほしいと思ったのだと考えた。

問七 傍線部④「まさか。どこでそんな話を？」とありますが、この言葉を朗読するときの読み方として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑩の欄)

- 1 話題になっっていることに関心がないので、その気持ちが伝わるように暗い感じで朗読する。
- 2 相手にこれ以上言葉を継がないようにさせたくて、きつい口調でとがめるように朗読する。
- 3 相手の言葉に興味はないが、無視もできない様子がわかるように、冷たい感じで朗読する。
- 4 予想していた展開になつてきた喜びを悟られないように、ことさら深刻そうに朗読する。
- 5 意外なことに驚き、否定する感じが出るように、大きな声で力強く朗読する。

問八 B に当てはまる適当な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑪の欄)

- 1 肩で風を切りそう
- 2 口がすっぱくなりそう
- 3 目が点になりそう
- 4 たかをくくりそう
- 5 目から鼻へ抜けそう

問九 傍線部⑤「リッキーはまわりに注意をはらい、小声で言った」とありますが、リッキーが言ったことへの一輝の反応の説明として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑫の欄)

- 1 マリーが一輝との関係を解消するために、二人しか知らないことを公表したことに驚いている。
- 2 自分とマリーしか知らないことが噂になつてを知り、ひどく動揺している。
- 3 リッキーが噂を広めた張本人であることを確信して、どう仕返しをしようかと考えている。
- 4 リッキーが一輝に関するいろいろなことを知っていることに驚き、リッキーに気味悪さを感じている。
- 5 マリーが一輝をふったことを周囲に話していることに衝撃を受けて、マリーへの憎しみを感じている。

問十 本文の表現の特徴として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑬の欄)

- 1 比喩が多用されているので、様子を想像しやすく、場面の内容が立体的に表現されている。
- 2 人物の心の中の言葉が中心になっており、心情の対比が明確に表現されている。
- 3 過去と現在の場面が入りまじっているため、状況の変化の様子が適切に表現されている。
- 4 短い会話が効果的に用いられていて、場面の様子が臨場感をもって表現されている。
- 5 マリーに対する一輝の心情の変化を、情景の変化に託して効果的に表現されている。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

クレヴァー・ハンス(「賢いハンス」)の話をご存知だろうか。ハンスは、二〇世紀の初頭、ドイツのヴェルヘルム・フォン・オステンという人に飼われていた賢いウマで、^I数字をみてその数だけ足踏みするだけでなく、いろいろな足し算もこなし、^①正解にあたる数だけ足を踏みならすことができた。動物にも知的な能力があるということを示す例として一世を^②風靡したが、やがて、ハンスは本当に足し算ができるわけではなく、飼主であるフォン・オステンやほかの^③チヨウ衆から手がかりを得て、それに反応しているのにすぎないことがわかった。

ハンスは、3という数字を示されると三回足を踏みならす。2+3という式を見せられると五回足を踏みならす。しかし、数字や足し算が理解できているわけではなく、正しい答えの数まで足踏みが終わったときに、ハンスを見守っている人々が無意識のうちにみせる顔の表情や緊張の度合いを察して、そこで足踏みをやめることによって正解に達していたのである。

^④クレヴァー・ハンスの話は、初歩的な心理学や動物行動学の教科書によく載せられている。A、この話の意味するところとしては、「動物にはやはり抽象的な思考能力はないのだ」ということであるか、「動物実験をするときには細心の注意を払わねばならない」ということであるか、どちらかの教訓として語られることが多い。

動物実験をする際に細心の注意を払わなければ、とんでもない結論を導くことになるのは真実である。しかし、クレヴァー・ハンスの話は、^⑤それ以上のものをも含んでいる。

第一に、ハンスが、人が無意識のうちに出している微妙な手がかりを見破ることができたというのはずばらしいことである。フォン・オステン氏自身は、いかさまをやるうとしていたわけではなく、まじめにハンスに数を教えようとしていた。ハンスは、フォン・オステン氏自身も気がつかない表情やしぐさに気づいていたのである。

ハンスの計算演技の実態を見抜いた心理学者のブングストも、ハンスが実際にどのような手がかりを用いていたのかを^⑥突き止めることはできなかった。ただ、まわりでみている人間の反応を手がかりにすることができないような状況では、ハンスは正解を出すことができず、まわりの人々が間違った答えを知らされたときには、ハンスも間違った答えを出すということを示しただけである。その後、この話が、「ウマは結局のところ計算ができない」という結論に落ち着いてしまった結果、ウマはどんな手がかりを利用していただけなのか、B、ウマはどのような手がかりを正確に利用できるのか、ほかの動物でもできるのかなどについては、^⑦残念ながら研究されていない。

第二に、動物は本当に数の概念を持っているのだろうか。そんなことはない。さまざまな実験から、ラット、ハト、サル、オウム、チンパンジーなど多くの動物が、ある^⑧テイ度の数の概念をもっていることが示されている。アリゾナ大学の心理学者が訓練したオウムのアレックスは、聞いた音が何回であったかを英語で答える。犬山の^⑨霊長類研究所に住んでいるチンパンジーのアイは、示された鉛筆や紙切れやお菓子の数がいくつであるかを数字で答える。ラットは、訓練すると、右のバーを四回押してから左のバーを一回押す、右のバーを八回押してから左のバーを一回押す、などの手続きを覚える。チンパンジーの言語訓練で先駆的な研究を行ったアメリカの心理学者のプレマックが訓練していたサラというチンパンジーは、チヨコレートのかけらが三つのせられた小皿と四つのせられた小皿とのセットと、五つのせられた小皿と一つのせられた小皿とのセットのど

ちらかを選ぶようにいわれたときには、三つと四つのセットの方を選んだのである。

サラに三つと四つのセットと、四つと三つのセットとをみせたら、これは同じだと答えるのではないだろうか。

動物たちにも数の*プリミティブな概念があることは確かだ。動物において、数情報がどのように処理されているかは、まだよくわかっていない。しかし、*デジタルではなく*アナログであるらしい。数が小さいほど弁別が正確で、大きくなるほどあやふやになることや、二つの数のセットの間の差が大きいほど正確で、差が縮まるほど不正確になることなどが、それを示している。ハトでも、たとえ数が四〇を越えるようになっても、四九と五〇の弁別はできないが、四五と五〇ならできるのである。

人でも、動物のようなアナログの数の概念は、脳の中に組み込まれているようだ。それは、人が世界を認識する鍵となる基本的要素の一つなのだろう。しかし、人間の数の概念とその処理が格^④ダンに優れているのは、それが*シンボリックな記号を使ってデジタルに処理されるからである。数でも言語でも、人間は、シンボルを活用することによって認識の新たな境地を開いた。しかし、それがあまりに当然になってしまっているため、ほかの動物の世界の認識の仕方を知る上では、^⑥イメージネーションの妨げになっているのではないだろうか。

(長谷川眞理子『朝三暮四』より)

※風靡 その時代にすごい勢いで流行すること。

※プリミティブ 原始的な。

※デジタル 情報を0と1の数字の組み合わせやオンとオフで扱う方式。文字・音声・画像など、あらゆる物理的な量や状態を表現できる。

※アナログ 量やデータの変化を連続的に示す方式。

※シンボリック 象徴的な。

問一 傍線部①から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| ① | 挑 | 2 | 帳 | 3 | 調 | 4 | 聴 | 5 | 徴 | (解答は⑭の欄) |
| ② | 突 | 2 | 着 | 3 | 就 | 4 | 付 | 5 | 尽 | (解答は⑮の欄) |
| ③ | 帝 | 2 | 抵 | 3 | 提 | 4 | 程 | 5 | 低 | (解答は⑯の欄) |
| ④ | 団 | 2 | 段 | 3 | 談 | 4 | 弾 | 5 | 断 | (解答は⑰の欄) |

問二 傍線部I「数」の部首と組み合わせで一つの漢字になる語を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| 1 | 台 | 2 | 求 | 3 | 未 | 4 | 土 | 5 | 車 | (解答は⑱の欄) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|

問三 傍線部①「正解にあたる数だけ足を踏みならすことができた」とありますが、ハンスのこの様子についての説明として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑲の欄)

- 1 ハンスはできるだけ自分で考えて、見守る人々の様子も参考にして答えていると考えられる。
- 2 ハンスはオステンの様子に注目し、その様子を手がかりにして答えていると考えられる。
- 3 ハンスは、答えを教えようとしている人を見つけて、その人の様子を手がかりにしていると考えられる。
- 4 ハンスはあらかじめ教えられていた答えを覚えていて、それを思い出ししていると考えられる。
- 5 ハンスを見守っている人々の無意識の表情や、緊張の度合いを手がかりにしていると考えられる。

問四 傍線部②「クレヴァー・ハンスの話」とありますが、この話の説明として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑳の欄)

- 1 動物の思考は具体的なものではないということ、動物実験は動物の立場を考えれば行うべきではないということのどちらかの教訓を得て終わってしまうことが多い。
- 2 動物にはやはり抽象的な思考能力はないということ、動物実験をするときには細心の注意を払うことが必要だということの、どちらかの教訓が語られることが多い。
- 3 動物の思考を人間には理解することができない、動物実験で得られることは何もないということの両方の教訓を得て終わってしまうことが多い。
- 4 動物は人間の期待するような行動をしない、動物実験はあらかじめ想定される範囲の結果しか得られないという、教訓が導かれるのがほとんどである。
- 5 動物は人間を喜ばせようと行動する、動物実験では細心の注意を払っても正当な結果は得られないという、どちらかの納得できる教訓しか得られないことが多い。

問五

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 1 | A | ・ | B | に当てはまる言葉の組み合わせとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は㉑の欄) | | | | | |
| 2 | A | ・ | B | だから | 3 | A | ・ | B | では |
| 3 | A | ・ | B | ただし | 4 | A | ・ | B | だが |
| 4 | A | ・ | B | ただし | 5 | A | ・ | B | あるいは |

問六 傍線部③「それ以上のものをも含んでいる」とありますが、筆者の考えとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は②の欄)

- 1 ハンスという一頭のウマだけの行動に着目して、動物について論じるのは愚かなことであり、今後はたくさん動物の行動に着目して判断しなければならないということ。
- 2 ハンスの話は、とんでもない結論で終わったが、それはハンスを観察する際に細心の注意を払わなかったことに原因があったことを考へに含める必要があるということ。
- 3 ハンスの話は、ウマには数の概念がないことと、ウマが人間の考えを理解しているかどうかは嚴重に管理した設備の中で研究しなければわからないということを教えてください。
- 4 ハンスの話は、ウマが飼い主の期待にこたえようとするということと、ウマも数の概念について理解している可能性があるということについて研究に値することを含んでいるということ。
- 5 ハンスの話は、動物が人間の微妙な手がかりを察知したことと、どのように察知したのかに関心を集めるようになったこと。

問七 傍線部④「残念ながら研究されていない」とありますが、ここから読み取れる筆者の考えとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は③の欄)

- 1 ハンスについて、ウマはやはり計算ができないという結論に落ち着いたのは妥当なことだ。
- 2 ハンスの研究が広がりを見せなかったために、動物の行動について深い理解に至らず残念なことだった。
- 3 ハンスの心理状態を研究して人間の心理学に応用して発展しなかったのはもったいない事だと言える。
- 4 ハンスとほかの動物を比較して研究していれば、動物の研究が飛躍的に進んだはずなのに残念だった。
- 5 ハンスのように賢いウマはめったにいなかったため、今から研究しようとしてもはや手おくれだ。

問八 傍線部⑤「四九と五〇の弁別はできないが、四五と五〇ならできるのである」とありますが、どういうことを述べていますか。適当なものを、

(解答は④の欄)

- 次の中から一つ選び、番号で答えなさい。
- 1 数の弁別で、動物は二つの数の差が大きいと正確だが、二つの数の差が小さいと不正確になるということ。
 - 2 数の弁別で、動物は二つの数の差が大きいと不正確だが、二つの数の差が小さいと正確になるということ。
 - 3 動物では数の概念が定まっていなくてあやふやなので、二つの数の差の大小は区別するのが困難だということ。
 - 4 動物では数の概念が固定しているので、二つの数の差の大小について意識したりはしないということ。
 - 5 動物の数の概念はアナログであり人間の概念に近いので、人間と同じような間違いをしがちだということ。

問九 傍線部⑥「イメージーションの妨げになっていないだろうか」とありますが、筆者が述べようとしたこととして適当なものを、次

(解答は⑤の欄)

- の中から一つ選び、番号で答えなさい。
- 1 人間はシンボルの活用がじょうずではなく、それをもとにしたイメージーションには限界があるので、アナログの思考しかできなくなるということ。
 - 2 人間は、人間と同じイメージーションが動物にもあるかと思いがちなので、そのために動物の行動を理解できなくなることが多くなるといふこと。
 - 3 人間のイメージーションには限界があるので、シンボルを活用することをやめてイメージーションをさらに広げる工夫をしたほうがよいということ。
 - 4 人間は、イメージーションを人間特有のものだと思いがちで、動物にもイメージーションがあることを忘れてしまいがちになるということ。
 - 5 人間は、シンボルを活用することによって認識の新たな境地を開いたが、その方法を動物の世界の認識の仕方に適用すると、想像力が働かなくなるということ。

問十 本文の内容と合っているものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は②の欄)

- 1 いろいろな事例から、動物も数の概念を持っているらしいことが明らかになりつつある。
- 2 ハンスは動物にも知的な能力があるということを示すための研究材料として飼われていた。
- 3 かつての、初歩的な心理学や動物行動学では、動物の研究例に注目しすぎだった。
- 4 動物行動学の研究者と心理学者の共同の研究が進んでいて人間の心理の理解も深まっている。
- 5 動物の数の概念はアナログなので、デジタルの進歩は、人間にとって好ましいことではない。

三 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

延喜の聖王、醍醐寺を御建立の時、道風朝臣に額書き進らすべきよし仰せられて、額二枚を(ア)たまはせけり。一枚は南大門、一枚は西門の料なり。真草両様に書きて奉るべきよし、勅定ありければ、仰せにしたがひて両様に書きて進らせたりけるを、真に書きたるは南大門の料なるべきを、草の字の額を、晴れの門にうたれたりけり。道風これを見て、「(イ)あはれ賢王や」とぞ申しける。そのゆゑは、草の額ことに書きすましておぼえけるが、叡慮に叶ひて、かく日比の儀あらたまりてうたれける。誠にかしこき御はからひなるべし。それをほめ申すなるべし。

(古今著聞集)より

〔現代語訳〕 延喜の醍醐天皇が、醍醐寺をお建てになられた時、臣下の道風に額を書いて献上するように仰せがらうて、額二枚を(ア)たまはせけり。一枚は南大門、一枚は西大門に使うものである。真草両様に書きて奉るべきよし。天皇の仰せがあったので、仰せに従って二通りに書いて献上したのを、楷書で書いた額は南大門に掛けるためのものであったが、草書で書いた額のほうを、南大門に掛けたのだった。道風はこれを見て、「あはれ賢王や」と申しした。その理由は、(道風も)草書の額はとりわけ立派に書きあがったと思っていたところ、天皇のお考えにならうて、このように平生の方式とは違うように額が掛けられたのは、誠にかしこき御はからひなるべし。それを感じ申し上げる。

※延喜 日本元号の一つで、九〇一年から九二三年までの期間。

※道風朝臣 平安時代を代表する、書の名人。

※料 ある目的のために用意された物品。

※叡慮 天皇のお考え。

問一 傍線部(ア)・(イ)の文中での意味として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- (ア)たまはせけり | 1 献上させていただいた | 2 拝見させていただいた | (解答は②の欄)
- 3 上手にお書きになった | 4 お与えになった | (解答は⑦の欄)
- (イ)あはれ賢王や | 1 立派な賢い王だ | 2 かわいそうな賢い王だ | (解答は⑧の欄)
- 3 賢い王ではないので失望した | 4 賢い王がなつかしい | (解答は⑩の欄)

問二 傍線部④「そのゆゑは」を現代仮名遣いに直し平仮名で表したものとして適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 そういえば | (解答は⑨の欄)
- 2 そのゆるわ |
- 3 そのゆるば |
- 4 そのゆえは |

問三 傍線部①「額書き進らすべきよし仰せられて」とありますが、醍醐天皇はどのようにしようと思いましたが、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 道風に額を書かせて、そのできばえがよければ醍醐寺の門に掛けようとした。 | (解答は⑩の欄)
- 2 道風に額を書かせて醍醐寺の南大門に西門の額を移させようとした。 |
- 3 醍醐寺の南門か西門のどちらかに額を書かせようとした。 |
- 4 建立された醍醐寺の南門と西門に掛ける額を道風に書かせようとした。 |

問四 傍線部②「南大門」とありますが、南大門の説明として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 醍醐寺を代表する門で、西門よりも立派な感じの門。 | (解答は⑪の欄)
- 2 醍醐寺の門の中で最も多くの額が掛けられている門。 |
- 3 醍醐寺に不似合いな門で、人々も注目しない門。 |
- 4 賢王だけが通り抜けることを許されている門。 |

問五 傍線部③「真草両様に書き奉るべきよし」とありますが、天皇からどういう仰せがあったのですか。適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は⑳の欄)

- 1 楷書と草書では違う字を書いて手本となるよう
- 2 楷書よりも草書を入念に書いて差しだすよう
- 3 楷書と草書を書いて自信のあるほうを差しだすよう
- 4 楷書と草書の二通りに書いて差しだすよう

問六 傍線部④「誠にかしこき御はからひなるべし」とありますが、道風がそう感じた理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は㉓の欄)

- 1 草書の額よりも楷書の額のほうが立派に書けたと思ったから。
- 2 草書の額はとりわけ立派に書くことができたと思ったから。
- 3 楷書の額も草書の額もどちらもできばえに自信があったから。
- 4 楷書の額はいいかげんに書いたが、草書の額は力を入れて書いたから。

問七 傍線部⑤「ほめ申すなるべし」の主語として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。(解答は㉔の欄)

- 1 筆者
- 2 聖王
- 3 賢王
- 4 道風

令和5年度

東北高等学校 国語一般A 解答シート

氏名

受験番号

一

- ①
□
- ②
□
- ③
□
- ④
□
- ⑤
□
- ⑥
□
- ⑦
□
- ⑧
□
- ⑨
□
- ⑩
□
- ⑪
□
- ⑫
□
- ⑬
□

二

- ⑭
□
- ⑮
□
- ⑯
□
- ⑰
□
- ⑱
□
- ⑲
□
- ⑳
□
- ㉑
□
- ㉒
□
- ㉓
□
- ㉔
□
- ㉕
□
- ㉖
□

三

- ㉗
□
- ㉘
□
- ㉙
□
- ㉚
□
- ㉛
□
- ㉜
□
- ㉝
□
- ㉞
□

令和5年度

東北高等学校 国語一般A 解答シート

氏名
解答

受験番号

一

- ①
5
- ②
2
- ③
2
- ④
1
- ⑤
3
- ⑥
3
- ⑦
2
- ⑧
1
- ⑨
4
- ⑩
5
- ⑪
3
- ⑫
2
- ⑬
4

二

- ⑭
4
- ⑮
1
- ⑯
4
- ⑰
2
- ⑱
2
- ⑲
5
- ⑳
2
- ㉑
3
- ㉒
5
- ㉓
2
- ㉔
1
- ㉕
5
- ㉖
1

三

- ㉗
4
- ㉘
1
- ㉙
4
- ㉚
4
- ㉛
1
- ㉜
4
- ㉝
2
- ㉞
4